

幼児教育研修（ 保健衛生・健康 ）

受講者数 121名

日時 7月13日（水） 15:00～17:00

場所 西新井文化ホール

講師 テクノポートデンタルクリニック 院長 倉治 ななえ 氏

【内 容】～歯とあごを育てる乳幼児の口腔健康支援～

人生100年時代。歯を多く保っている人は認知症になりにくい。だから、歯は命。本研修では、乳幼児の口腔機能発達のステージ別対策をはじめ、歯磨きキライな子どもたちの理由、「自分磨き」は将来自立するための教育、「仕上げ磨き」は歯垢の徹底除去の役割などを学びます。また実際に乳歯ブラシ（仕上げ磨き用）をもち、歯が生える前からの新しい歯磨きの仕方を自分の指を使い実践します。



【受講者の感想】

* 研修で学んだことを業務・保育にどう活かしていきますか

- ・子どもの口腔機能の発達が、食べる機能、話す機能、呼吸等の機能に影響するということがよく理解できた。口腔機能の育成のためには、乳幼児期から始める乳歯のケアを実際に行う保護者が、悩んだり困ったりしていることに寄り添い、一緒に子育てをしていく事が保育者の役割なのだという事を学んだ。
- ・食べる姿勢について、足が床や踏み台に着いていない時と着いている時では、咬合力に違いが出ることを学んだ。椅子の高さを一人ひとり確認し、しっかりと床に足がついて食事ができるようにしていく。
- ・鼻詰まりなど口呼吸になっていたり、離乳食時の誤った食事介助により歯並びの悪い子になってしまったりすることを学んだ。また、姿勢の悪さや食事時に足が床に着いていないことが、咬合力に影響を与えてしまうこともよく分かった。保健だよりや保護者会時に保護者にも伝えていく。
- ・今回のお話を通して、乳児期からの歯磨き、口腔ケアが大切なことがよく分かった。歯の健康が生活習慣に繋がり、意欲や自信に繋がることを改めて理解することができた。
- ・歯が生える前からのケアが大切ということを知り、保護者の方々へ情報を伝えていきたいと思う。また、食具での正しい介助の仕方について、離乳食の介助を日々行っている所以他職員と情報を共有していきたいと思う。